



美ら島沖縄

～ちゅらしまおきなわ～

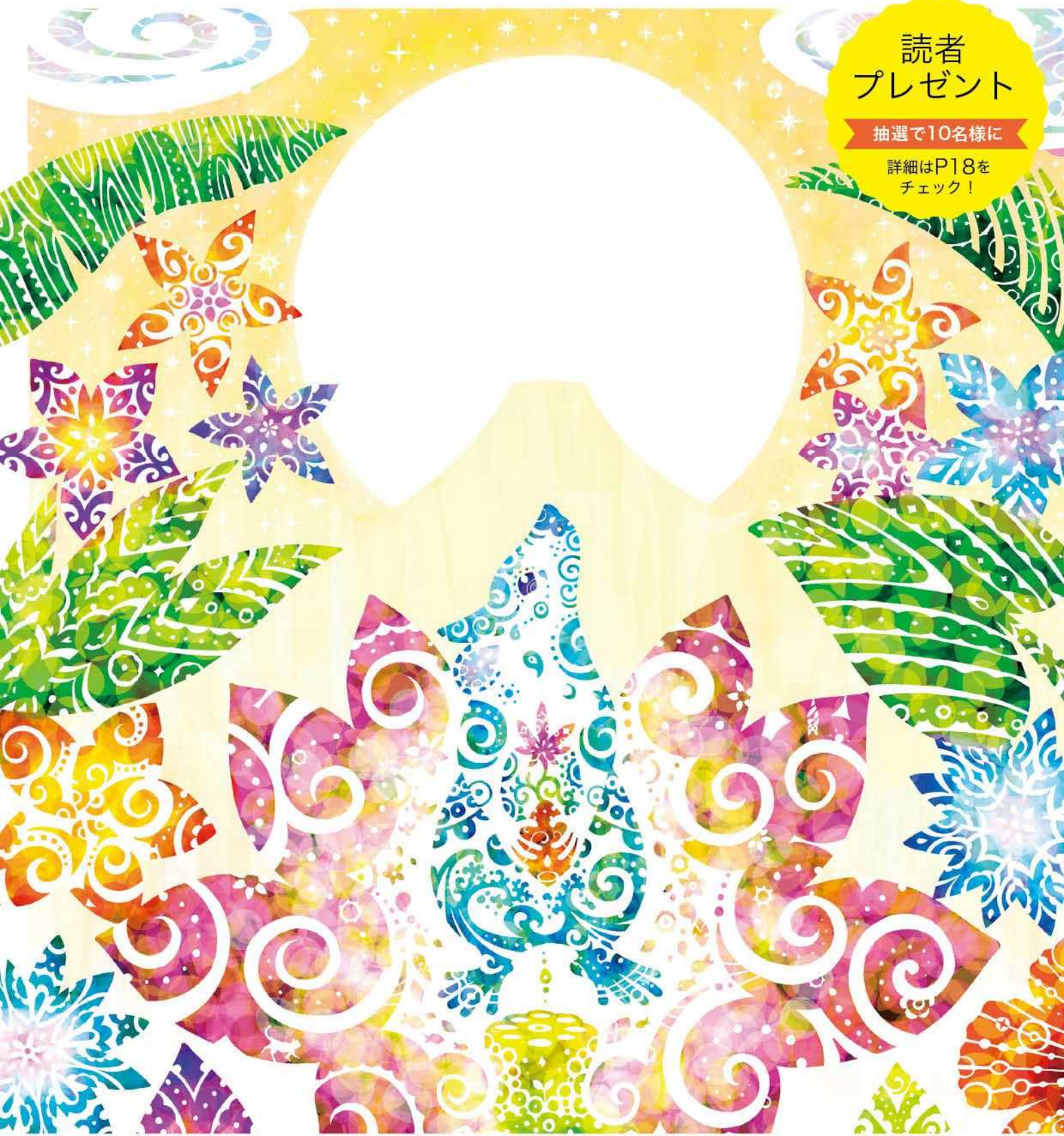
1

vol. 532
2020.JANUARY

読者
プレゼント

抽選で10名様に

詳細はP18を
チェック!



特集
1

「沖縄県」この一年

特集
2

サッカーキャンプ&プロ野球キャンプ
シーズン到来!



年頭の御挨拶



はいさい！いいそーぐわちでーびる（明けましておめでとうございます）。
県民の皆様には、素晴らしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、那覇空港の国内線、国際線及びLCCの各ターミナルが一体化した際、内連結ターミナルビルの供用開始や、沖縄都市モノレールの浦添市までの延長開業などの交通基盤の整備、組踊上演300周年記念事業、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席を仰いで開催された第43回全国育樹祭、第1回ちゅらうちなー草の根平和貢献表彰式など、様々な取り組み、出来事がありました。そして、観光や雇用関連の指標が前年を上回るなど景気の拡大が続き、経済面で好調といえる年でありました。

一方、琉球・沖縄の歴史と文化の象徴として、また県民のアイデンティティーの拠り所として、多くの観光客にも親しまれてきた「首里城」の正殿とその周辺の建物、収蔵品等が焼失するという、大変衝撃的な出来事もおこりました。

このことについては、国内外の皆様から本当に多くの温かい御支援をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。
県としましては、今後は、一刻も早い首里城の復旧・復興に向け、国等の関係機関と連携を密にしながら全力で取り組んでまいります。
引き続き、皆様の御支援と御協力をお願い申し上げます。

さて、沖縄県では、2年後の令和4年（2022年）に日本復帰50周年という節目を迎えます。「新時代沖縄」の到来に向け、アジアのダイナミズムを取り込み、経済全体を活性化させるとともに、「沖縄らしい優しい社会」を構築し、安定的に発展する好循環を創り上げるため、島々の鼓動、人々の輝き、限らない沖縄の可能性を存分に引き出し、「誇りある豊かさ」の実現に向け、各種施策の推進に全力で取り組む必要があります。

今年、那覇空港第二滑走路の供用開始などを踏まえ、昨年まで続いた好調な経済を更なる発展に繋げ、沖縄振興を加速させることが重要であると考えます。加えて、今年度より本格的に取組を開始したSDGs（エスディーゼイズ／Sustainable Development Goals）持続可能な開発目標）については、沖縄の実情にあった、沖縄らしいSDGsを全県的に推進することとし、今後は、国際社会が目指す持続可能な社会の構築にも貢献できるよう、SDIO（エスディオ／Sustainable Development Island Okinawa）と呼ばれるような取組を進めていきたいと考えております。

私は、昨年1年間、辺野古新基地建設の阻止に「挑」み、全国各地でのトークキャラバン開催、訪米して米国民をはじめ政府や連邦議会議員に対し直接訴えかけるなど、米軍基地問題の解決のため、「挑」み続けるとともに、県民の意思を背景として、様々な行政施策の実施と公約の実現に「挑」んで参りました。今年、令和2年もまた、子どもの貧困問題の解決、一人あたり県民所得の向上、「企業稼ぐ力」の強化をはじめとする様々な県政課題の解決に「挑」んでまいります。「自立」「共生」「多様性」の理念の下、「包摂性」と「寛容性」に基づく政策を推進し、「誰ひとり取り残さない」沖縄県の実現を目指したいと思っております。

結びに、本年が皆様にとって、希望に満ちた輝かしい年となることを祈念しまして、年頭の挨拶といたします。

くとうしん ゆたさるぐとう うにげーさびら
（今年も よろしく おねがいたします）。

令和二年一月一日

沖縄県知事 玉城デニー

CONTENTS

今月の表紙



「子の刻」
与儀勝之

- 02 年頭の御挨拶
- 03 県政日誌
- 04 特集1
「沖縄県」この一年
- 06 特集2
サッカーキャンプ&プロ野球キャンプ
シーズン到来!
- 08 県の動き①
IT津梁まつり2020
～最新のIT技術を体感する2日間!～
- 09 つながり みんなで育もう!!
- 10 教えて!!わたしたち島うちなー
取り戻そう!健康長寿おきなわ
私たちができること
- 12 県の動き②
おきなわ花と食のフェスティバル2020
～旬の農林水産物を見て、食べて、体感する!～
- 13 沖縄21世紀ビジョン
「農業」と「福祉」がつながって、
地域共生社会の実現へ
- 14 情報ひろば
- 16 県の動き③
110番通報制度を正しく利用しましょう!
- 17 わった～町のイチバン星
日本一早いスイカの出荷/今帰仁村

沖縄の人口・世帯の動き

総人口	世帯数
145万5,267人 ※前月比1,083人増	60万6,913世帯 ※前月比1,176世帯増
令和元年11月1日現在	

本号の電子Book版とバックナンバーは
ホームページでご覧いただけます。



美ら島沖縄 検索

美ら島沖縄の設置場所

沖縄ファミリーマート、モノレール各駅等で無料配布しています。
また、公共機関や銀行、病院など多くのの方が利用する施設でも
ご覧いただけます。新規設置施設も受付致しておりますので
関心のある方は広報課までご連絡ください。なお、全世帯向けの
戸別配布は致しかねます。ご了承ください。

SUSTAINABLE GOALS

SDGsとは、2015年9月に「国連持続可能な開発サミット」において採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられている2030年までの国際社会全体の目標です。SDGsは17のゴールと169のターゲットから構成され、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会環境分野の課題の解決に向け、総合的に取り組むこととしています。

沖縄県庁広報課
公式ツイッター
@okinawa_pref



- 15日 首里城火災復旧・復興支援寄付金贈呈式 (沖縄経済同友会、JALグループ) 富川副知事が、イタリア・オランダへ出張(～11/22)
- 17日 玉城知事が、東京2020オリンピック機運醸成イベント「ダイバーシティでゆいまーる!WE LOVE SPORTS FES」記念セレモニーに出席
- 18日 首里城復興戦略チーム辞令交付式 玉城知事が、那覇港管理組合11月議会に出席 首里城火災復旧・復興支援寄付金贈呈式 (株式会社NTTドコモ九州、那覇空港ビルディング株式会社、宗教法人真如苑)
- 19日 デニー知事トークキャラバン in 札幌
- 20日 首里城火災復旧・復興支援寄付金贈呈式 (沖縄通信ネットワーク株式会社、沖縄県労働金庫及び沖縄県労働金庫労働組合、株式会社沖縄伊藤園)
- 22日 県用地転用促進・基地問題協議会が、日米政府に基地問題解決促進に関する要請 県立病院付属診療所医師らが、謝花副知事を表敬 NPO法人日本国際ボランティアセンター 仁茂田芳枝氏らが、謝花副知事を表敬 首里城火災復旧・復興支援寄付金贈呈式 (ジーマ株式会社) 奄美市役所職員(沖縄県庁研修者)一同が、謝花副知事を表敬し、首里城火災復旧・復興支援寄付金を贈呈
- 23日 富川副知事が、安和エコパーク落成式典及び祝賀会に出席
- 24日 玉城知事が、創立50周年記念沖縄県母子寡婦福祉大会に出席
- 25日 伊江村字西江上区長 知念 邦夫らが、農林水産祭むらづくり部門天皇杯受賞を玉城知事に報告 東京2020オリンピック事前キャンプ協定締結式 (デンマーク・ハンドボール) 参議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会による首里城視察及び意見交換 謝花副知事が、総理官邸で、首里城復元のための関係閣僚会議幹事会に出席 首里城火災復旧・復興支援寄付金贈呈式 (西日本電信電話株式会社、沖縄セルラーグループ、宗教法人創価学会、楽天グループ)
- 26日 玉城知事が、抗告訴訟第1回口頭弁論に出廷 富川副知事が、関係省庁へ新たな週疎対策法定及びさとうきび政策支援等に関する要請 首里城火災復旧・復興支援寄付金贈呈式 (上海琉友会)
- 27日 県議会11月定例会開会(～12月20日迄)会期24日間 首里城火災復旧・復興支援寄付金贈呈式 (大同火災海上保険株式会社、一般社団法人徳洲会、株式会社九電工、株式会社沖縄県物産公社、明星食品株式会社)
- 28日 JICA事業コロンビアの研修生が、謝花副知事を表敬 首里城火災復旧・復興支援寄付金贈呈式 (兵庫県及び兵庫県議会)
- 29日 アジア経済戦略構想推進・検証委員会が、玉城知事へ提言を手交 ベトナム ドン・タップ省人民委員会 副委員長 ドアン・ダン・ブウ氏らが、富川副知事を表敬 福島県副知事 井出 孝利氏らが、富川副知事を表敬 首里城火災復旧・復興支援寄付金贈呈式 (沖縄県中小建設業協会)
- 30日 謝花副知事が、連合沖縄結成30周年記念レセプションに出席



NPO法人日本国際ボランティアセンター 仁茂田芳枝氏らが、謝花副知事を表敬



伊江村字西江上区長 知念 邦夫らが、農林水産祭むらづくり部門天皇杯受賞を玉城知事に報告



東京2020オリンピック事前キャンプ協定締結式 (デンマーク・ハンドボール)



謝花副知事が、関係省庁へ新たな週疎対策法定及びさとうきび政策支援等に関する要請



アジア経済戦略構想推進・検証委員会が、玉城知事へ提言を手交

2019年12月 DEC

- 2日 衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会との意見交換 玉城知事が、首里城復元のための関係閣僚会議に出席 首里城火災復旧・復興支援寄付金贈呈式 (金秀グループ、株式会社ぐしけん)
- 3日 G P Yeh基金 葉恭平会長らが、富川副知事を表敬 首里城火災復旧・復興支援寄付金贈呈式 (沖縄懇話会、株式会社沖縄環境保全研究所、株式会社福山ホールディングス、近海郵船株式会社)
- 9日 群馬県知事 山本一太氏が、玉城知事を表敬
- 10日 謝花副知事が、金武町における米軍照明弾の落下事故について、外務省特命全權大使 川村 裕らに抗議 首里城火災復旧・復興支援寄付金贈呈式 (徳里産業グループ)
- 12日 一般社団法人日本損害保険協会会長 金杉 恭三氏が、玉城知事を表敬
- 13日 謝花副知事が、沖縄復興調査会の首里城再建に関する委員会に出席 首里城火災復旧・復興支援寄付金贈呈式 (琉幸建設株式会社、宮地エンジニアリング株式会社、株式会社エイチ・アイ・エス、大米グループ)



衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会との意見交換

「沖縄県」

この一年

昨年は、那覇空港際内連結ターミナルビルの供用開始、沖縄都市モノレール延長開業、南大東漁港(北大東地区)の開港、安和エコーパークの落成、組踊300周年記念事業の開催、SDGs推進本部の設置など、沖縄振興の流れを一層推進した年でした。

さらに、南部九州全国高等学校総合体育大会の開催、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席による第43回全国育樹祭及び地方事情御視察お成りなどの行事があった年でもありました。

一方で、琉球・沖縄の歴史と文化の象徴として、また県民のアイデンティティの拠り所として、多くの観光客にも親しまれてきた首里城の正殿とその周辺の建物、収蔵品等が焼失しました。

「自立と共生と多様性の沖縄」「誇りある豊かな沖縄」を実現させるために、沖縄21世紀ビジョン基本計画(沖縄振興計画)の総仕上げに向けた取り組みを加速させ、経済、教育、文化、保健医療、農林水産業の振興、基地問題など、全ての分野に引き続き取り組みます。

1月 17日 玉城知事による伊是名村及び伊平屋村への知事行政視察(1月19日)

2月 1日 「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界自然遺産登録に向け推薦書を提出

2月 2日 南大東漁港(北大東地区) 開港式

2月 24日 辺野古米軍基地建設のための埋立ての賛否を問う県民投票が執行

3月 8日 国家戦略特区農業支援外国人受入事業において外国人農業支援人材の派遣が開始

3月 18日 那覇空港「際内連結ターミナルビル」が供用開始

3月 29日 「沖縄県歯科口腔保健の推進に関する条例」の制定

4月 1日 下地島空港に国内線(成田便)が初就航

4月 1日 子供・女性安全対策課から人身安全対策課へ課名変更

4月 1日 女性力・平和推進課を設置

4月 13日 第2回島酒フェスタの開催(4月14日)

4月 16日 県内民間企業における平成30年の障害者の実雇用率は全国で最も高いことが発表された

4月 22日 こののぼり掲揚式

4月 25日 ResoTech Okinawa おきなわ国際IT見本市実行委員会が設立

4月 26日 平成31年度沖縄振興拡大会議



4/13 島酒フェスタ
沖縄が世界に誇る伝統文化、琉球泡盛の魅力を県内外に発信し、観光の振興や地域の活性化につなげるため、県と那覇市、沖縄県酒造組合の共催による「第2回島酒フェスタ」が開催されました。約1万5千人の多くの県民、観光客が来場しました。



2/2 南大東漁港(北大東地区) 開港式
南大東漁港(北大東地区)が平成30年9月に完成したことから、内閣府大臣をはじめ多くの来賓出席し、開港式が執り行われました。



1/17 玉城知事が伊是名村及び伊平屋村を訪れ、前田村長、伊礼村長をはじめ住民の代表者の皆さまを囲みでの意見交換会、中学校での講演、島内視察などを実施しました。



9/29 10月1日の沖縄都市モノレール延長区間の開業を記念して式典及び出発式が開催されました。



9/16 玉城知事が浦添市にお住まいの又吉芳子さんを訪問し、県民を代表して御長寿にあやかるとともに、祝状と記念品を贈呈しました。



9/6 女性がさまざまなライフステージに応じて持てる力を十分に発揮し、活躍できる人材の育成や、互いに励まし合いながら成長していけるネットワークづくりなどを目的に「ていする塾」が開講しました。

10月 1日 幼児教育・保育無償化の実施

9月 29日 沖縄都市モノレール延長開業式典及び出発式

9月 24日 「基幹急行バス」運行開始

9月 17日 「沖縄U-ターン就職サポートセンター」を那覇、東京、大阪に開設

9月 16日 お元氣百歳あやかり訪問

9月 13日 水道広域化に向け伊平屋島の施設整備に本格着手

9月 6日 令和元年度「ていする塾」の塾開講式

8月 27日 ニュージールランドラグビー連盟と東京オリンピック事前キャンプ協定を締結

8月 25日 北マリアナのサイパン、テナン及びグアムを訪問(8月30日)

8月 25日 南洋群島沖縄県人戦没者慰霊祭参列(8月30日)

8月 20日 県性暴力被害者ワンストップ支援センターが、24時間365日体制の病院拠点型へ移行

8月 7日 埋立承認取消しの効力を取り消した国土交通大臣の裁決を取り消すよう求める訴え(抗告訴訟)を提起

8月 7日 東京でのキックオフシンポジウムを始めに、名古屋市、大阪市及び札幌市において「We Love OKINAWA」知事トークキャラバンを実施

8月		7月				6月				5月										
2日	31日	31日	25日	19日	17日	16日	12日	16日	12日	11日	5日	28日	24日	20日	18日	17日	13日			
玉城知事による与那国町への知事行政視察 (~8月3日)	宮古・八重山圏域で、公共交通機関のグループマップでの乗り換え検索が実現	名護市に食鳥処理施設が完成	令和元年度全国高等学校総合体育大会が開催	下地島空港に国際線(香港)が初就航	埋立承認取消しの効力を取り消した国土交通大臣の裁決は違法な国の関与であるとして、その取消しを求め提訴	総点検報告書(素案)を沖縄県振興審議会へ諮問	はうまんちゅの宝	第30回「土壌保全の日」〜次世代に残そう! 農地はうまんちゅの宝	沖縄県・ハワイ州高校生交流事業30回記念式典	ダム貯水率100%達成	宮古島にのみ生息するトカゲの一種「ミヤコカナヘビ」の一種が県の天然記念物に指定	ナヘビの一種が県の天然記念物に指定	玉城知事がサントクトペテルブルク国際経済フォーラムへ出席(~6月9日)	琉球王朝時代の「多良間島の抱護」と「林政八書」が県内初の林業遺産として全国で34番目の登録	玉城知事による久米島町への知事行政視察 (~5月25日)	琉球王朝時代の「多良間島の抱護」と「林政八書」が県内初の林業遺産として全国で34番目の登録	琉球ゴールデンキングス BLEAGUE 2018-19 シーズン 西地区優勝報告会	宮古事務所が自動車税平成30年度現年分滞納ゼロを達成	沖縄本島と北大東島を結ぶ海底光ケーブル整備事業調査設計業務に着手	県内初の日本遺産認定(琉球王国時代から連続と続く沖縄の伝統的な「琉球料理」と「泡盛」そして「芸能」)



7/25

鹿児島県・熊本県・宮崎県・沖縄県の南部九州4県と和歌山県において全国高等学校総合体育大会(インターハイ)が開催されました。(~8月20日)



7/19

宮古圏域初となる国際線として香港エクスプレス航空による香港-下地島路線が週3便で新規就航しました。



5/13

2018-19シーズンを終えた琉球ゴールデンキングスの佐々ヘッドコーチ、選手らが来庁し、玉城知事、県民へシーズン終了の報告を行いました。



4/22

県庁正面玄関前広場にて「こいのぼり掲揚式」を開催しました。子どもたち約60名が楽しい歌やお遊戯を元気いっぱい披露しました。



12/15

秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席を賜り、沖縄県では初めてとなる全国育樹祭を開催しました。



12/15

秋篠宮皇嗣同妃両殿下は、国立沖縄戦没者墓苑での御供花や県立芸術大学敷地内から首里城遠景を御覧になるなど、県内各地を御視察されました。



11/23

名護市安和地区に、周辺環境に影響を与えないモデル施設として、産業廃棄物管理型最終処分場「安和エコパーク」が完成し、落成式が開催されました。



11/14

国内外から過去最高の644社を迎え、国内最大規模の食の商談会「沖縄大交易会2019」が開催されました。

12月		
26日	15日	14日
第1回ちゅうちなー草の根平和貢献表彰式の開催	県立図書館が開館1周年で利用者が65万人を突破	秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席による第43回国育樹祭及び地方事情御視察お成り (~12月15日)

11月				
29日	26日	23日	20日	14日
沖縄県SDGs推進本部の設置	沖縄県子ども居場所ネットワークを設立	公共関与による産業廃棄物管理型最終処分場「安和エコパーク」が落成	水道広域化に向け伊是名島の施設整備に本格着手	沖縄大交易会2019の開催
				玉城知事による座間味村への知事行政視察 (~11月14日)
				第23回島嶼観光政策フォーラム(IIOP)の開催

10月						
31日	31日	30日	29日	25日	25日	18日
首里城で火災発生	沖縄県希少野生動物植物保護条例の制定	飲酒運転根絶県民大会の開催	令和4年度国民文化祭の開催地内定	重要無形文化財(芸能)「琉球古典音楽」保持者追加認定	重要無形文化財(芸能)「琉球古典音楽」保持者追加認定	伊江村字西江上区が農林水産祭、むらづくり部門にて天皇杯を受賞
						玉城知事が在沖米軍基地問題の解決に向けて、就任後2度目の訪米(~10月20日)
						タイエキスポ沖縄2019の開催(~10月6日)

サッカーキャンプ & プロ野球キャンプ シーズン到来!



1月からは、
サッカーキャンプ!

1月、Jリーグをはじめとするサッカーキャンプが実施されます。昨年2019年は、Jリーグ、なでしこリーグ、韓国リーグ、大学チームなど様々なカテゴリーの計28クラブが北は本部町から、南は石垣島まで県内全域でキャンプを実施し、県内外から多くのサッカーファンがキャンプ地を訪れ、大いに賑わいました。

今年も、昨年好評だった沖縄サッカーキャンプガイドブックをモノレール駅、コンビニ、キャンプ地などで無料配布するほか、新たな取組として1月中旬～下旬にかけて那覇空港2階ウエルカムホールに沖縄サッカーキャンプの魅力を発信するブースを設置いたします。キャンプ期間中は、トップ選手の卓越したプレーが観られるだけでなく、間近に触れあえる絶好の機会となっておりますので、キャンプ地にぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。



**OKINAWA
SOCCER CAMP**
沖縄サッカーキャンプ



沖縄サッカー
キャンプ
WEB サイト
<https://soccer-camp.okinawa/>

(沖縄サッカーキャンプ 2020) 実施施設一覧

No.	エリア	市町村	施設名
1	北部	国頭村	かいぎんフィールド国頭
2		本部町	本部町運動公園陸上競技場
3		金武町	金武町フットボールセンター
4			金武町陸上競技場
5		恩納村	赤間総合運動公園サッカー場
6	中部	読谷村	読谷村陸上競技場
7			残波岬ボールパーク
8		うるま市	具志川多種目球技場
9		沖縄市	県総合運動公園陸上競技場
10		中城村	吉の浦公園ごさまる陸上競技場
11	西原町	西原町民陸上競技場	
12	南部	南風原町	黄金森公園陸上競技場
13		豊見城市	豊見城総合公園陸上競技場
14		南城市	南城市陸上競技場
15		八重瀬町	東風平運動公園サッカー場
16			具志頭陸上競技場
17		糸満市	西崎陸上競技場
18	離島	石垣市	サッカーパークあかんま



浦和レッズの選手によるサッカー教室の様子
(写真提供：浦和レッズ)

※実施施設は本誌掲載時から変更する可能性があるため、最新情報はサッカーキャンプ専用WEBサイトを参照

2月からは、プロ野球キャンプ!

2月、プロ野球キャンプは、北は国頭村、南は石垣島まで県内全域で実施されます。

2019年春には、日本9球団、韓国7球団の計16球団が県内でキャンプを実施しました。

昨年に引き続き、今年も那覇空港2階ウエルカムホールにプロ野球沖縄キャンプブース「めんそーれパーク」を設置し、各球団のユニフォーム展示やプロ野球沖縄キャンプガイ



沖縄プロ野球キャンプ2020
WEBサイト
<https://www.okinawabaseball.com/>



ドブックを配布するほか、SNSによるキャンプ風景の発信、ポータルサイトと連携した周遊客の利便性を高めるアプリの開発、プロ野球キャンプ地来場者へのプレゼントなど、魅力溢れる様々な取組を行っています。

キャンプ地を訪れるほか、空港では、ぜひ、「めんそーれパーク」に立ち寄り、プロ野球沖縄キャンプを楽しんでいただきたいです。

経済効果の推移

プロスポーツキャンプでは、多くのファンやメディアがキャンプ地を訪れることで、地域の活性化や大きな経済効果を生み出しています。

2019年春における経済効果では、サッカーキャンプで約25億円(前年比+約5億円)、プロ野球キャンプで約14.1億円(前年比+約18億円)となっており、好調に推移しています。

サッカーキャンプについては、今年もヴィッセル神戸所属のインエスタ選手をはじめ、日本代表で活躍する選手などがキャンプに訪れるほか、多くのトレーニングマッチも開催されますので、更なる盛り上がりが見込まれます。

また、キャンプ期間中に行われるスポーツ教室では、青少年に夢や希望を与え、アスリートキャリアの構築にも大きく寄与しています。

県では、サッカーキャンプ、プロ野球キャンプともに多くの方々にキャンプ地に足を運んでいただけるよう専用のWEBサイトを公開し、随時情報発信していきますので、ぜひこちらも御利用いただければと思います。

〈経済効果等の推移〉

サッカーキャンプの経済効果



プロ野球キャンプの経済効果



問い合わせ

スポーツ振興課

電話:098-866-2708

FAX:098-866-2729

IT津梁まつり2020

～最新のIT技術を体感する2日間!～

日時 1月17日(金)・18日(土)10時～17時

場所:ANA ARENA 浦添(浦添市民体育館)



マスコットキャラクター
I(アイ)ちゃん

IT津梁まつりってなあに?

「IT津梁まつり」は、子どもから大人まで多くのみなさんが、ITの技術を使った新しいモノやサービスにふれて、ITをもっと身近に感じることができるお祭りです。

県内の大学や高校、県内外のIT企業が集結し、生徒の皆さんが製作した新しいゲームソフトや、新しいIT技術を活用した自動運転車への試乗を行うなど、ワクワク、なるほどがいっぱいのブースが数多く出展されます。



最先端のITを体験しよう!

●こどもプログラミング教室

簡単なプログラミングソフトを使って、一緒にゲームを作ろう!

●ドローン体験

小さなドローンを自分の手で飛ばしてみよう!

●eスポーツ大会

eスポーツ大会にエントリーして決勝を目指そう!



●ロボットがパソコンを操作する? RPA(アールピーイー)って何?

ロボットが人に代わってパソコン操作をする「RPA」と呼ばれるソフトウェアを紹介!

●WRO世界大会入賞報告会

2019年11月にハンガリーで開催されたWRO世界大会で、見事入賞した小学生チームがやってくる!



ほかにも、AR・VRゲーム体験など、楽しいプログラムがいっぱい!



数年後、ITはどんな風に使われている?

私たちの生活に、IT技術がどのような形で関わっているか、これからどのように付き合っていくべきかなどをテーマにしたセミナーを行います。ほかに県内IT企業によるデモンストレーションや、学生向けのITフォーラム、学生のプレゼン大会などのプログラムも予定しています。



「ITはちょっと苦手」、「ITってよくわからない」という方も、日々進化を遂げているITの世界をのぞいてみませんか? 「こんなこともできるんだ!」、「こんなことをやってみたい!」など、ITへの見方が少し変わるかもしれません。

「IT津梁まつり2020」公式サイト
<http://www.it-matsuri.net/>

IT津梁まつり2020事務局
電話:098-862-3577



問い合わせ

情報産業振興課

電話:098-866-2503 FAX:098-866-2455



子どもたちの夢や希望を育む社会へ

～沖縄県子どもの居場所ネットワークでつながる支援の輪～

子どもの居場所とは

沖縄は子どもの貧困率が全国に比べて高いことから、県では、国や市町村、そして地域の方々と連携して、子どもたちの健やかな成長と学びを支えるため、子どもの居場所の活動を支援しています。

子どもの居場所とは、家庭や学校以外で、放課後や休日に地域の大人や友達と一緒に食事を作って食べたり、勉強したり、創作・体験活動等を行うことができる場所のことです。



居場所でのイベントの様子

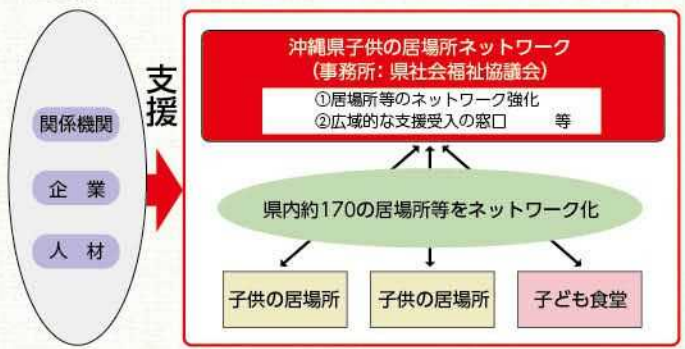
沖縄県子どもの居場所ネットワーク

現在、県内には約170ヶ所の子どもの居場所が活動しており、地域の実情に応じた支援に一生懸命取り組んでいます。

そうした活動を後押しするため、県では、子どもの居場所同士がつながり、運営者が抱える課題等を情報共有するほか、支援者からの支援を速やかに県内の居場所へ届けるため、子どもの居場所ネットワークを立ち上げました。



居場所での食事風景



居場所ネットワークのイメージ図



支援者からの無料チケットの贈呈

ネットワークを構築することで、居場所の活動がより一層充実し、継続した取り組みにつながります。県内企業及び県民の皆様の支援の輪が広がるよう、ご支援・ご協力をお願いいたします。

問い合わせ 子ども未来政策課 電話:098-866-2100 FAX:098-869-5146

広告